

マタイ 53

恵みの主に 立ち返ろう

マタイ福音書21:18~27 枯れたいちじくの木

Shikaichurch.com

11

主イエスが、いちじくを枯らしたこと、
すんなり、受けいられますか？

主の恵みと裁きを考えます

12

恵みの主に立ち返ろう

①裁きの時は来る

枯れたいちじく 21:18~22

②権威あるメシアによって

権威をめぐる問答 21:23~27

③恵みの主に立ち返ろう

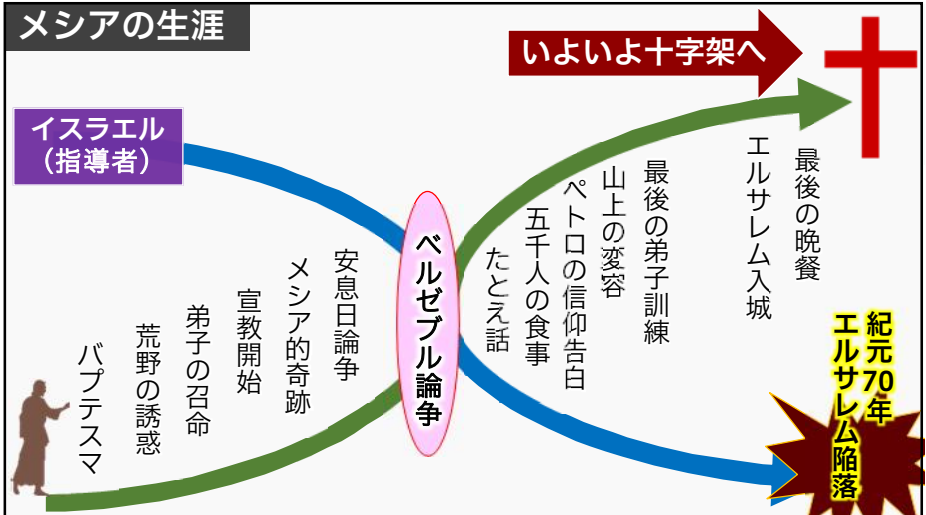
まとめと適用



聖書引用 新改訳2017 ©2017 新日本聖書刊行会 許諾番号4-1062-2

13

メシアの生涯



14

エルサレムに向かうメシア

- 宣教の拠点だったガリラヤを離れ、エルサレムへ上るイエス。
- 過越の祭りが迫り、街道には、都に向かう大勢の巡礼者の姿が。
- イエスは、歓声の中、エルサレムへ。腐敗しけがれた神殿をきよめられた。

15



16

メシアの受難と過越祭 (種なしパンの祭り・除酵祭)		
日付	イエスの行動	祭りの日程
10日(日)	エルサレム入城	犠牲の子羊のより分け
11日(月)	いちじくの呪い 宮きよめ	} 子羊の吟味期間(11~14日) 吟味されるメシアの きよさと権威
12日(火)	神殿での最後の論争	
13日(水)夕	ベタニヤでの油注ぎ	
15日(金)	最後の晚餐 「新しい契約」 告別説教 最後の祈り 逮捕 裁判	過越祭 過越の食事 (過越祭の後の一週間が、 種なしパンの祭り・除酵祭)
	十字架刑 …午前9時 死 埋葬	…神殿で子羊が屠られる時刻
17日(日)	復活	初穂の祭り

17



18

①裁きの時 空腹 マタイ21:18～19a

さて、朝早く都に帰る途中*、イエスは空腹を覚えられた。

道端に一本のいちじくの木が見えたので、そこに行って見ると、葉があるだけで、ほかには何もなかった。

*滞在先のベタニアを出てエルサレムへ

■収穫期は、夏(6～9月)だが、

春にも、葉の茂るのと同時に、小さな実が。

→この小さな実も摘果して食べていた
(麦の穂を摘まむような一時しのぎ)



19

並行箇所 実のない民 マルコ11:13

葉の茂ったいちじくの木が遠くに見えたので、その木に何かあるかどうか見に行かれたが、そこに来てみると、葉のほかには何も見つからなかった。いちじくのなる季節ではなかった*からである。

*収穫期ではないが、小さな実がつく時期

■葉と同時に、実もなるのが本来。

→メシアが来られたら、
イスラエルは受け入れるのが当然だが…



20

①裁きの時 呪い マタイ21:19b

それでイエスはその木に「今後いつまでも、おまえの実はないように*」と言われた。すると、たちまちいちじくの木は枯れた。

*メシアの言葉は、そのままなる

■マルコでは、二日にわたる出来事。

1日目 …呪い、宮きよめ

2日目 …枯れていた

■この時期に小さな実がない →収穫もない



メシアを拒んだエルサレムを待つのは、主の裁き

21

①裁きの時 弟子たちの疑問 21:20

弟子たちはこれを見て驚き、「どうして、すぐにいちじくの木が枯れたのでしょうか」と言った。

■弟子たちは、いちじくが枯れた奇跡に、意味があるとは理解したが…。

→エルサレムの罪と裁きは無理解



22

①裁きの時 信仰の力 マタイ21:21

イエスは答えられた。「まことに、あなたがたに言います。もし、あなたがたが信じて疑わないなら、いちじくの木に起こったことを起こせるだけでなく、この山に向かい、『立ち上がって、海に入れ』と言えば、そのとおりになります。

*“信じて疑わない”

→盲信、思い込みとは違う!!

■疑いのない信仰=主の御心と一致した信仰

→御心と一致した願いは、必ずなる!!



23

①裁きの時 約束 マタイ21:22

あなたがたは、信じて祈り求めるものは何でも受けることになります。」

文脈は終末の裁き

■主の御心と完全に一致する時が来る!!

→イスラエルの民族的回心の時、

裁きを求める祈りに応え、主は再臨

①メシアを拒んだイスラエルは裁かれ、

②長い離散の末に、世の終わりの大艱難が!!

③民族的回心とメシア再臨後、千年王国へ!!

示されたのは、①主の裁き、②世の終わり、③神の国の到来



24

①裁きの時 聖書における「いちじく」

■アダム、エバが、腰を隠す覆いを作った(創世記3:7)

■約束の地の豊かな産物の一つ(民数記13:23)

■イスラエルへの神の恵みの象徴(1列王記4:25)

■イスラエルの象徴の一つ(士師記9:11,エレミヤ24:2)

■主の日の裁きをも象徴(黙示録6:13)

神の恵みの民であるイスラエルを象徴

25

①裁きの時 神の民イスラエルの墮落と裁き

「わたしはイスラエルを、荒野のぶどうのように見出し、あなたがたの先祖を、いちじくの木の新なる実のように見ている。バアル・ペオルにやって来たとき、彼らは恥ずべきものに身を委ね、自分たちが愛しているものと同じように、彼ら自身も忌まわしいものとなった。

私の神は彼らを退ける。彼らが神に聞き従わなかったからだ。彼らは国々の間で、さすらい人となる。ホセア9:10~11」

■偶像礼拝の末に、捕囚の裁きを受けたイスラエルは、メシアを拒んだために、長い離散の苦しみを味わうことに。

26

①裁きの時 いちじくを枯らす奇跡が示したこと

■ 過越の祭りで神殿で献げられる、子羊の吟味の期間、メシアは、①**権威**と②**きよさ**を証明される。

■ 宮きよめと、いちじくを枯らした奇跡

→①メシアには、裁きを下す神の**権威**がある

→②メシアが、イスラエルを**きよめ**られる

メシアには、きよめ、裁く、権威がある!!

27



②**権威あるメシア**によって 権威を巡る問答 21:23~27

28

②主の権威 権威の問題 マタイ21:23

それからイエスが宮に入って教えておられる*と、祭司長たちや民の長老たちがイエスのもとに来て言った。「何の**権威**によって*、これらのことをしているのですか。だれがあなたにその**権威**を授けたのですか。」

*神殿の四方を囲む回廊が教えの場だった。

*前日にイエスは、宮きよめで大暴れ。

→問題となったのは、**権威**、正当性

■自分たち以上の**権威**があるわけがない!!



29

②主の権威 イエスの答え マタイ21:24

イエスは彼らに答えられた。「わたしも一言尋ねましょう。それにあなたがたが答えるなら、わたしも、何の**権威**によってこれらのことをしているのか言いましょう。」

■直接答えず、問い返すイエス



30

②主の権威 イエスの問い 21:25a

ヨハネのバプテスマ*は、どこから来たものですか。天からですか、それとも人からですか。」すると彼らは論じ合った。

*洗礼者ヨハネの悔い改めのバプテスマ

→メシアに備え、メシアを待ち望む信仰に立ち返ることを民に促した。

■ヨハネは、ガリラヤの領主ヘロデ・アンティパスによって捕らわれ、殺害された。



31

①熱狂の中 議論 マタイ21:25b~26

「もし天からと言えば、それならなぜヨハネを信じなかったのかと言うだろう。だが、もし人から出たと言えば、群衆が怖い。彼らはみなヨハネを預言者と思っているのだから。」

■ヨハネは、絶大な影響を民に与えた。

→数十年後も弟子が活動(使徒19:3)

■板挟みで身動きがとれなくなった権力者。

→気にしているのは、神の意志ではなく、自分の面子、人々の評判



32

②主の権威 返答 マタイ21:27

そこで彼らはイエスに「分かりません」と答えた。イエスもまた、彼らにこう言われた。「わたしも、何の**権威**によってこれらのことをするのか、あなたがたに言いません。」

■先駆者ヨハネへの神の**権威**を認めれば、メシアの**権威**を認め、受け入れられた。

→メシアを拒み続ける権力者たち

■イエスが神の**権威**と答えれば、捕らえられ、たちまち神への冒瀆を訴えられただろう。



吟味の段階であり
まだメシアが
死ぬ時ではない!!

33

②主の権威 権威あるメシアによって

■エルサレム議会(サンヘドリン)…祭司、律法学者、パリサイ人たちは、公式にイエスを拒絶。

■イエスの権威をも拒絶し、民を引き離そうと躍起に!! 同時に、イエスを捕らえる機会も虎視眈々と。

■イエスは、まともに相手にせず、問いに問いを持って返し、問答に勝利。

メシアは、宗教的権威に勝利し、裁く権威を証明

34



まとめと適用 ③主の恵みに立ち返ろう

35

まとめ ①裁きの時は来る

【いちじくを枯らした奇跡の背景】

- イスラエルは、イエスはメシアではないと拒絶。
→メシアによってもたらされる神の国も拒絶
- メシアを拒んだエルサレムに迫る裁き(70年の陥落)
→長い離散の放浪の末に、大艱難がやってくる
- 民族的回心の後、民の祈りに応えてメシアは再臨。
→敵を滅ぼし、神の王国を建てられる

36

まとめ ②権威あるメシアによって

- 権威を巡る問答に、メシアは一つの問いだけで勝利
→宗教的権威は、何も応えられなかった。
- メシアであるイエスには、
神殿をきよめ、偽善者を裁く権威がある。
- 神の権威を前にして、とれる選択肢は二つに一つ。
→イエスをメシアとして、受け入れるか、否か

すべての人は、メシアの権威の前に選択を迫られる

37

まとめ ③主の恵みに立ち返ろう

- いちじくは、イスラエルへの神の恵みの象徴であり、
イスラエル自身を象徴するもの。
- 求められるのは、神の恵みの民として、
悔い改めて、神の恵みの内に立ち返ること。
- 主イエスは、十字架を目前にして、
なおもイスラエルに、悔い改めを促し続けられた。

38

まとめ	主の恵みに立ち返ろう
①裁きの時は来る	…メシアによる裁きの時は来る 目前の裁きと、世の終わりの裁き
②権威あるメシアによって	…メシアの権威を認め、 ひれ伏すことが求められる
③主の恵みに立ち返ろう	…究極の恵み。十字架の死と復活。 福音に立ち返り、立ち続けること。
主イエスの恵みの福音に、日々立ち返り、立ち続けよう!!	

39

適用	主の恵みを恵みとして味わうために
①主の裁きを受け入れよう	…再臨のメシアは、王の王、主の主、 裁き主として来られる
②主の権威にひれ伏そう	…裁き主イエスをおそれよう 主イエスを日々、礼拝しよう。
③主の恵みに立ち返ろう	…私の罪のため、十字架で死なれ、 復活された、主イエスの恵みに!!
主イエスをおそれ、愛し、主の恵みの内に歩もう!!	

40

適用	信仰の恵みの道を歩むために
■恵みの福音を受けとるために、必要なのは、	
①義の神の前に、自分の罪を認めること	
②愛の神の前に、罪の贖い(救い)を求めること	
■福音を信じて、罪を贖われた私たちに求められるのは、	
①主をおそれつつ	
②主を愛していくこと	
義と愛の主への おそれと愛をもって 信仰の道を歩もう	

41

適用	信仰の救いの道を確認しよう
■滅びに至る罪を認めて、救いの扉の前に立たされた。	
■主イエスの贖いによる救いの恵みを信じて、救われた。	
■罪に気づかされ、自覚を深められつつ、打ち砕かれ、 主の前にへりくだり、さらなる恵みに満たされて行く。	
喜びと感謝が、日々、増し加えられているだろうか？	

42

★ 主の恵みに立ち返ろう ★

■ 主の裁きを拒む者は、主の恵みを受けとれない。

主の権威をおそれ、へりくだっているか。
犯した罪を認め、悔い改めつつ歩んでいるか。

■ 悔い改めがないのは、主に逆らい続けていること。
懲らしめを悔り、裁きを拒む者は、やがて主に裁かれる。

主へのおそれをもって、日々主の恵みに立ち返ろう

43

てん とう わたし つみ
「天のお父さま。私たちの罪をゆるしてください。
わたし かみ こ しゅ
私たちは、神のみ子、主イエス・キリストが、
わたし つみ あがな じゅうじか し
①私たちの罪を贖うために十字架で死なれ、
はか ほうむ
②墓に葬られ、
みつかめ ふっかつ
③三日目に復活されたこと、を信じます。
よ お のこ かみ たみ く あらた しゅ た かえ
世の終わり、残された神の民が、悔い改めて主に立ち返ります。
てん のぼ しゅ さば ぬし ふたた こ
天に昇られた主イエスは、裁き主として再び来られます。
しゅ しんらい めぐ うち つか
主へのおそれと信頼をもって、恵みの内に遣わしてください。
かんしゃ しゅ な いの
感謝して、主イエス・キリストのみ名によって祈ります。アーメン」

44